

データの互換性

オーダ情報(処方) 【処方共通編】

基本データセット項目（1／2）

	基本データセット項目		HL7対応		
カテゴリ	項目名	項目名(英語)	データタイプ	OPT	セグメントNO
オーダ共通情報	医療機関ID	Facility ID	XON	O	ORC-21
	患者ID	Patient ID	CX	R	PID-3
	オーダ番号	Placer Order Number	EI	C	ORC-2 ORC-4
	版数(オーダ番号)	Revision (Placer Order Number)	EI	O	
	入外区分	Order Type	CWE	O	ORC-29
	依頼科	Entering Organization	CWE	O	ORC-17
	依頼医	Ordering Provider	XCN	O	ORC-12
	更新日時	Update Date/Time	TS	O	ORC-9
	更新者	Update User	XCN	O	ORC-19
	端末ID	Entering Device	CWE	O	ORC-18
	ステータス	Order Status	ID	R	ORC-1
管理情報	処方種別	Recipe	CWE	O	RXE-21
	処方せん番号	Prescription Number	ST	C	RXE-15
	オーダ受付日時	Order Effective Date/Time	TS	O	ORC-15
	処方せんコメント	Recipe Comment	CWE	O	RXE-21
	麻薬施用者番号	Provider's Narcotic License Number	XCN	O	RXE-13
保険情報	保険種別	Insurance Plan	CWE	R	IN1-2

JAHS基本データセット
適用ガイドラインVer.2.0
追加項目

基本データセット項目（2／2）

	基本データセット項目		HL7対応		
カテゴリ	項目名	項目名(英語)	データ タイプ	OPT	セグメント NO
用法指示 情報	Rp番号	Rp Number	EI	0	ORC-4
	用法種別	Usage	CWE	0	RXE-27
	用法	Usage Code	RPT	0	TQ1-3
	投薬開始日時	Start Date/Time	TS	0	TQ1-7
	日数	Duration Component	CQ	0	TQ1-6
	回数		NM	0	TQ1-14
	経路	Route	CWE	R	RXR-1
	部位	Site/Modifire	CWE	0	RXR-2 RXR-6
	用法コメント	Usage Comment	TX	0	TQ1-11
薬品指示 情報	薬品	Give Code	CWE	R	RXE-2
	用量(1回量)	Give Amount	NM	R	RXE-3
	用量(1回量-最大)	Give Amount - Maximum	NM	0	RXE-4
	用量(1日量)	Total Daily Dose	CQ	C	RXE-19
	用量単位	Give Units	CWE	R	RXE-5
	総量	Dispense Amount	NM	C	RXE-10
	総量単位	Dispense Units	CWE	C	RXE-11
	薬品コメント	Dispense Comment	CWE	0	RXE-21

2013年度修正項目

2013年度追加項目

2013年度修正項目

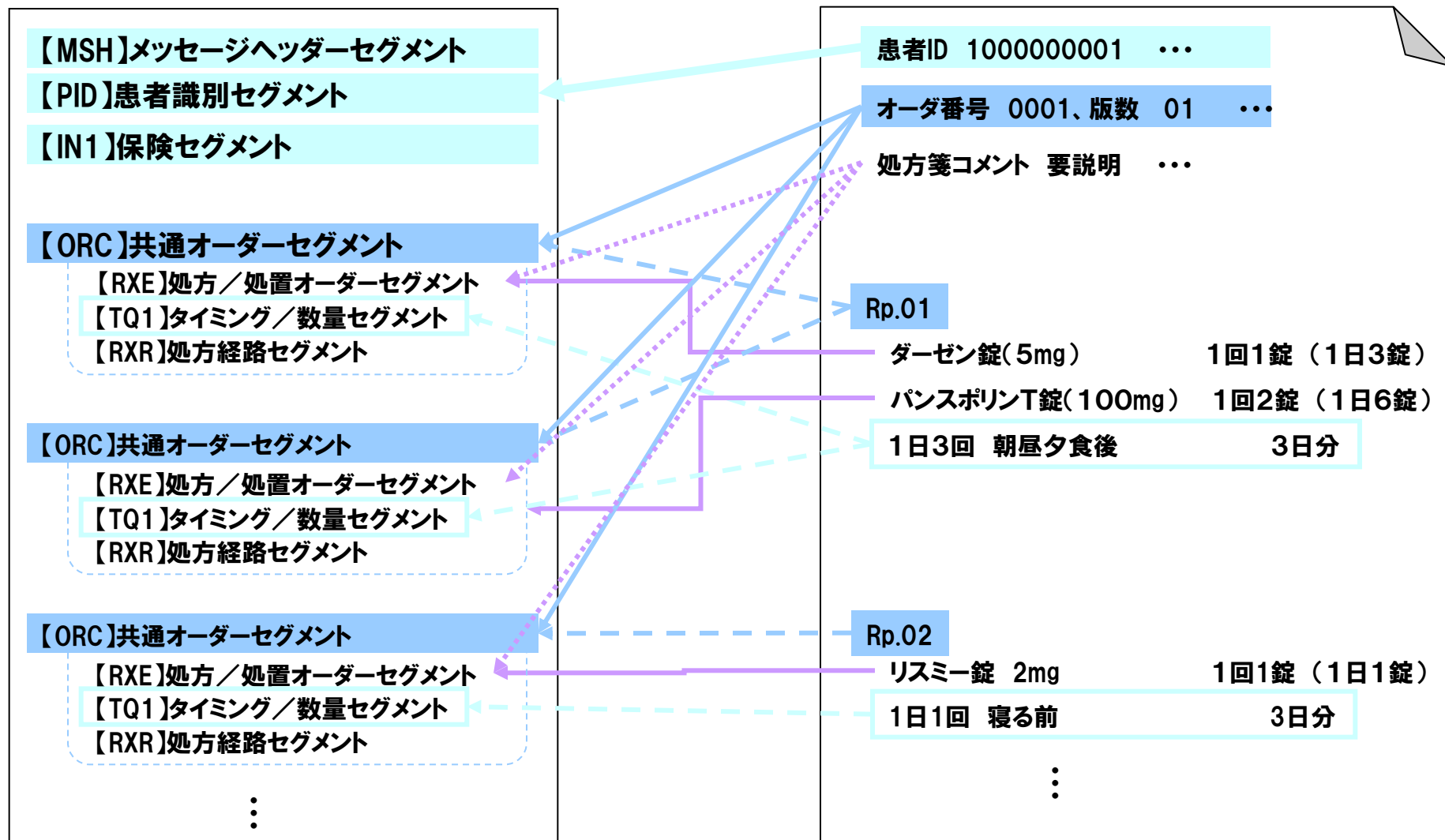
2011年度追加項目

◆使用セグメント

MSH	メッセージヘッダー
[
PID	患者ID
[{ IN1 }]	保険
]	
{	
ORC	共通オーダ
RXE	薬剤／処置
{ TQ1 }	タイミング／数量
{ RXR }	薬剤／処置経路
}	

※MSH-9にはRDE`011` RDE_011を使用する

オーダ情報(処方)のメッセージとのマッピング



実証実験の実施目標

- ・下記の(1)～(10)について、(5)を除き、基本データセット適用ガイドラインより、JAHIS処方データ交換規約Ver.2.1を優先する

【JAHIS処方データ交換規約Ver.2.1における主な変更点】

- (1) 用法および外用部位コードにJAMI標準用法マスタを採用
- (2) 保険情報の追加 (IN1セグメントを追加)
- (3) HOTコードのコーディングシステム名を「HOTnn」から「HOT」に変更
- (4) 必須フィールドで値をセットできない場合には「””」をセットすることを明記
- (5) ORC-4において、全てのRPを一意に識別するためにセットする値は「オーダ番号_RP番号」であることを明記
※本実証実験では「オーダ番号_版数_RP番号」をセットする
- (6) TQ1-6 サービス期間は時間を表すフィールドであるが、『日数・回数』に使用していたため、日数のみをセットするように変更
- (7) (6)に伴い、回数はTQ1-14にセットするように変更
- (8) TQ1-6 サービス期間の第2成分のコーディングシステム名を明記
例) 2`D&日&ISO+
- (9) JHSP表0003 用法種別を追加
内服、外用、頓用という用法種別 (RXE-27で使用)
- (10) JHSP表0004 薬剤単位を追加
MERIT-9で定義されている投与量単位では不足している単位をレセプト単位をもとにして抽出したものをまとめた表

・新しい用法にチャレンジ

【JAHIS処方データ交換規約Ver.2.1におけるメッセージ使用例】

- (1) 内服薬
- (2) 外用薬
- (3) 座薬
- (4) 麻薬
- (5) 頓服薬
- (6) 漸増(漸減)投与
- (7) 隔日投与
- (8) 不均等投与
- (9) 交互投与

⇒今回の実証実験では、

- (2) 外用薬
 - (5) 頓服薬
 - (7) 隔日投与
- を実施

【シナリオ①】 内服薬 外来院内処方 1RP（1薬品） 隔日投与

【シナリオ②】 外用薬 外来院外処方 1RP（1薬品）

【シナリオ③】 内服薬 入院臨時処方 1RP（1薬品） 頓用

使用するマスタ【処方共通】

JHSD表 0001 保険種別

コード	保険種別
C0	国民健康保険
01	政府管掌健康保険
06	組管掌健康保険
31	国家公務員共済組合
32	地方公務員等共済組合
33	警察共済組合
34	学校共済組合
LI	労災
TI	自賠
PS	公務員災害
PI	公害医療
OE	自費(保険なし)

与薬単位 (MERIT-9 処方オーダー 表4)

コード	単位
TAB	錠
CAP	カプセル
G	グラム
MG	ミリグラム
MCG	マイクログラム
L	リットル
ML	ミリリットル
UNT	単位
AMP	アンプル
BAG	袋
BTL	瓶
HON	本
KO	個
PCK	包
SHT	枚
VIL	バイアル

処方区分 (MERIT-9 処方オーダー 表7)

コード	処方区分
OHP	外来処方
OHI	院内処方
OH0	院外処方
IHP	入院処方
DCG	退院処方
ORD	定期処方
XTR	臨時処方

JHSP表 0003 用法種別

コード	用法種別
21	内服薬
22	頓用薬
23	外用薬

使用するマスタ【処方共通】

マスタの種別とコーディングシステム名

種別	コーディングシステム名		利用フィールド
	共通コード	ローカルコード	
処方種別、不均等指示	MR9P	任意の値 (99Z<NN>型で左記の 値と重複しないこと)	RXE-21
用法種別	JHSP0003		RXE-27
用法	JAMISDP01 HL70335		TQ1-3
経路	HL70162		RXR-1
部位	HL70550 JAMISDP01		RXR-2 RXR-6
薬品コメント	99031		RXE-21
処方せんコメント	99032		RXE-21
薬品	HOT		RXE-2
用量単位／総量単位	MR9P		RXE-5 RXE-11
保険種別	JHSD0001		IN1-2
診療科	99Z01		ORC-17
用法コメント	セットしない	セットしない	TQ1-11

※ ローカルコードは必ずしもセットする必要はない

注意事項【処方共通】

・参照する技術文書・規約について

今回の実証実験では、基本データセット適用ガイドラインより、JAHIS処方データ交換規約 Ver.2.1を優先する。

・用法コード

用法コードにはJAMI標準用法マスタを使用し、JAMI標準用法マスタで表現できない用法の場合には「使用者定義表0335 繰り返しパターン」を使用する。

・部位コード

外用部位コードには「JAMI標準用法マスタ 表13 外用部位コード表」（RXR-2にセット）を使用する。

外用以外の部位コードには「HL7表0550 身体の部位」（RXR-2にセット）を使用し、この場合、「HL7表0495 身体部位モディファイア」（RXR-6にセット）を合わせて使用してもよい。

・コーディングシステム名の変更点

用法種別（内服・外用・頓服）： JHSP0003
JAMI標準用法マスタ ： JAMISDP01
薬品コード ： HOT

コーディングシステム名の変更点

項目	コーディングシステム名		利用フィールド
	2011年度	2013年度	
用法種別	99007	JHSP0003	RXE-27
用法	HL70335 MR9P	JAMISDP01 HL70335	TQ1-3
HOTコード	HOT9	HOT	RXE-2

注意事項【処方共通】

- ・日数・回数の扱いについて
これまでは、TQ1-6には日数と回数をセットしていたが、TQ1-6 には日数のみをセットし、TQ1-14に回数をセットする。
- ・TQ1-6の第2成分にコーディングシステム名をセットする。
例) 2`D&日&ISO+
- ・「JHSP表0001 依頼者の処方指示」、「JHSP表0002 調剤特別指示」で使用する各種フラグは出力してもよいが審査対象外とする。
- ・「JHSP表0004 薬剤単位」は使用しない。

処方区分、用法ごとのフィールドへのセット内容

		内服薬				外用薬	
		不均等なし		不均等	頓用	頓用以外	頓用
		(1日量)	(1回量)				
RXE-3 (R)	与薬量-最小	1日量/回数	1回量	1回量 (最小値)	1回量	” or 1回量	” or 1回量
RXE-4	与薬量-最大	null	null	1回量 (最大値)	null	null	null
RXE-10	調剂量	1日量×日数	1回量×回数× 日数	1日量×日数	1回量×総回数	全量	全量 or 1回量 ×総回数
RXE-19	1日あたりの 総投与量	1日量	1回量×回数	1日量	null	null or 1日量	null
RXE-21	特別な調剤 指示	null	null	1回量内訳	null	null	null
TQ1-3	繰返条件	1日回数	1日回数	1日回数	頓用条件	1日回数、時間 間隔など	頓用条件
TQ1-6	期間	日数	日数	日数	null	null or 日数	null
TQ1-14	総発生	null	null	null	総回数	null or 総回数	総回数
TQ1-11	テキスト指 令	null	null	null	頓用コメント	1回量、1日当 たりの上限	頓用コメント



データの互換性

オーダ情報(処方) 【シナリオ①】

シナリオ① サンプル

【シナリオ①】 内服薬 外来院内処方 1RP（1薬品） 隔日投与

患者ID : 1000000001

患者氏名 : 患者 太郎 （男性 1958年7月7日生）

保険 : 組合管掌健康保険

オーダ更新日 : 2013年10月1日

外来処方オーダ内容（院内処方）

Rp.01 プレドニン錠5mg
1日1回夕食後（隔日）

3錠（1日3錠）
7日分

投薬開始日:2013年10月1日

指示医、入力医 : 実証 一郎

医師ID : 10001

シナリオ① メッセージ例

MSH|^~*|SEND||RECEIVE||20131001161523||RDE^O11^RDE_O11|201310011615230143|P|
2.5|||||ISO IR87||ISO 2022-1994<CR>

PID|||1000000001~~~~P||患者^太郎~~~~L^I^カンジャ^タロウ~~~~L^P||19601224|M<CR>

IN1|1|06^組合管掌健康保険^JHSD0001|^""<CR>

ORC|NW|123456789020000_01||123456789020000_01_01||||20131001161523||
10001^実証^一郎~~~~~L~~~~~I^ジッショウ^イチロウ~~~~~L~~~~~P||||01^内科^99Z01|
PC0001^99Z02|10001^実証^一郎~~~~~L~~~~~I^ジッショウ^イチロウ~~~~~L~~~~~P
||~~~~~FI^^9123456789||||||O^外来患者オーダ^HL70482<CR>

RXE||105271807^プレドニン錠5mg^HOT|3||TAB^錠^MR9P||||21|TAB^錠^MR9P||||201310010001
||||3^TAB&錠&MR9P||OHP^外来処方^MR9P~OHI^院内処方^MR9P||||21^内服薬^JHSP0003<CR>

TQ1|||10110004000000000&内服・経口・1日1回夕食後&JAMISDP01~Q2D&隔日&HL70335||
7^D&日&ISO+|20131001<CR>

RXR|PO^口^HL70162|MOUTH^口^HL70550<CR>

<EOM>

使用するマスタ【シナリオ①】

薬品マスタ（HOT9）

薬品名	HOTコード
パンスポリンT錠100 100mg	110926901
ダーゼン5mg錠	108665201
ボルタレン錠 25mg	100795402
ブレドニン錠5mg	105271807
アムロジンOD錠5mg	117316101
リハロ錠1mg	115683602
フロモックス錠100mg	110937501
メジコン錠15mg	103745601
ムコソルバン錠15mg	103895802
ペルマックス錠50μg	101230902

内服用法（JAMI標準用法マスタ）

用法		コード
1日1回	内服・経口・1日1回朝食前	1011000100000000
	内服・経口・1日1回朝食後	1011000400000000
	内服・経口・1日1回夕食前	1011010000000000
	内服・経口・1日1回夕食後	1011040000000000
	内服・経口・1日1回就寝前	1011100000000000
1日2回	内服・経口・1日2回朝夕食前	1012010100000000
	内服・経口・1日2回朝夕食後	1012040400000000
	内服・経口・1日2回朝食前	1012001100000000
	内服・経口・1日2回朝食後	1012004400000000
	内服・経口・1日2回昼夕食前	1012011000000000
	内服・経口・1日2回昼夕食後	1012044000000000
1日3回	内服・経口・1日3回朝食夕食前	1013011100000000
	内服・経口・1日3回朝食夕食後	1013044400000000
	内服・経口・1日3回朝夕食後と就寝前	1013140400000000

用法（HL7-0335 繰り返しパターン）

用法	値
隔日	Q2D

注意事項【シナリオ①】

・用法「隔日投与」の扱いについて

用法「隔日投与」はJAMI標準用法マスタのみでは表現できないため、JAMI標準用法マスタとHL7マスタ(HL7 0335表)を併用する。

**例) 1011000400000000&内服・経口・1日1回夕食後&JAMISDP01~Q2D&隔日
&HL70335**

用法「隔日投与」をインポートするときには用法として取り込み、コメント扱いは極力避ける。コメントとしてインポートする場合にはその旨をポリシーシートに記載してください。

・TQ1-6にセットする値について

TQ1-6には実投与日数(実際に投与・調剤する日数)をセットすることとする。

データシートには実投与日数を申請し、エクスポートデータは実投与日数を出力してください。システム上、実投与日数以外で管理している場合には投与日数の管理方法をポリシーシートに記載してください。

例) Rp.01 プレドニン錠5mg 3錠(1日3錠)
1日1回夕食後(隔日) 7日分

⇒上記のような場合、実投与日数 7日をTQ1-6にセットする

